

平成30年12月17日

電気工事士技能試験判定員の追加募集について

一般財団法人 電気技術者試験センターは、電気工事士技能試験判定員の追加募集を次のとおり行います。

- (1) 募集受付期間 平成30年12月17日(月)～平成31年1月18日(金)
- (2) 募集地区 地区は次のとおり
北海道：北見、釧路、室蘭、函館、札幌
東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、新潟県
関東：茨城県(つくば市近辺)、山梨県
中部：長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
北陸：富山県
関西：大阪府、兵庫県、和歌山県(和歌山市近辺)
中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国：香川県、愛媛県
九州：佐賀県(佐賀市近辺)、長崎県(長崎市近辺)、熊本県、大分県、
宮崎県
- (3) 業務内容 電気工事士技能試験の判定業務
- (4) 勤務地 主に採用地区の技能試験会場
- (5) 勤務日 技能試験実施日(最大4日/年であるが地域により1日/年となることもある)、研修日、その他当試験センターが必要と認める日
○技能試験実施日(平成31年度の場合)
平成31年7月20日(土) 第二種電気工事士上期技能試験
平成31年7月21日(日) 〃
平成31年12月7日(土) 第一種電気工事士技能試験及び
第二種電気工事士下期技能試験
平成31年12月8日(日) 第一種電気工事士技能試験及び
第二種電気工事士下期技能試験
○研修日 1日(平成31年4月下旬～6月下旬を予定)
- (6) 判定員手当 28,000円/判定業務1日当たり
研修受講者には、研修手当を別途支給します。
- (7) 旅費交通費 別途支給します。
- (8) 保険等 労働災害保険を適用します。
なお、当センターの加入している社会保険の対象にはなりません。

(9) 応募資格

次の①から⑤の条件を全て満たす者

- ①第一種電気工事士である者等、技能試験判定員の要件（電気工事士法施行規則第13条の7第3号）（p4参照）のうち、いずれかに該当する者
- ②技能試験日当日、各地区の担当試験会場において技能試験判定員として従事できる者であって、当センターの研修を受講できる者
- ③判定員業務に耐えうる健康を有する者（1年以上従事できる者）であって、満65歳位までの者
- ④国家試験の判定員として相応しい人格を有し、守秘義務を遵守できる者
- ⑤マイナンバーが記載されている、通知カード（コピー）、個人番号カード（表・裏ともコピー）、住民票の写し（個人番号が記載されているものに限る）のうち、いずれか1つを提出できる者（後日提出していただきます）

※勤務先によっては就業規則に「兼業禁止」「二重就業の禁止」を規定している場合がありますので、事前に確認をしてから応募願います。

(10) 応募方法

応募される方は、当センターのホームページにある「当センター所定の略歴書（写真貼付）、技能試験判定員の要件を満たすことを証する書面（免状の写し等）、振込口座指定書兼最寄り駅通知書、同意書」を活字で入力し、印刷したうえ、平成31年1月18日（金）までに当センターあてにメールまたは郵送してください。（必着）

なお、応募書類は返却しません。

※履歴書の写真をお忘れ無きよう願います。

応募書類の個人情報につきましては、採用選考及び判定員選任業務以外の目的には利用しません。

(11) 選考方法及び期日

①書類選考

（書類選考の結果及び②の通知は、1月25日（金）通知予定）

②筆記試験及び面接試験

書類選考を通過した方のみ筆記試験及び面接試験を実施します。

平成31年2月上旬～3月下旬実施予定（筆記試験及び面接試験対象者には通知文書発送予定。試験地は未定）

※応募状況により、選考をお断りする場合がありますので、ご了承ください。

(12) 応募先及び問い合わせ先

（応募先）

〒104-8584

東京都中央区八丁堀二丁目9-1（RBM東八重洲ビル8F）

一般財団法人電気技術者試験センター 試験業務部

電話 03-3552-7651 FAX 03-3552-7838

メール info@shiken.or.jp

※郵送の場合は封筒に（判定員応募書類在中）と朱書きしてください。

(13) 一般財団法人 電気技術者試験センターホームページ
<https://www.shiken.or.jp/>

(注) 技能試験判定員の要件（電気工事士法施行規則第13条の7第3号）は別紙のとおり
です。

以 上

技能試験判定員の要件

1、技能判定員の要件（電気工事士法施行規則第13条の7第3号）

- イー1 学校教育法による大学若しくは高等専門学校において電気工学に関する学科を担当する教授若しくは准教授の職にあり、又はあった者
- イー2 学校教育法による専修学校の専門課程において電気工学に関する学科を担当する教員の職にあり、又はあった者
- イー3 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）による高等学校教諭の専修免許状を有する者であって、学校教育法による高等学校において電気工学に関する学科を担当する教諭の職にあり、又はあった者
- イー4 電気工作物検査官の職にあり、又はあった者
 - ロ 第1種電気工事士である者
 - ハ 第2種電気工事士であって、電気工事に関する業務に5年以上従事した経験を有する者
 - ニ 電気事業法第44条第1項第1号の第1種電気主任技術者免状、同項第2号の第2種電気主任技術者免状又は同項第3号の第3種電気主任技術者免状の交付を受けている者であって、電気技術に関する業務に5年以上従事した経験を有する者
- ホ 学校教育法による大学、高等専門学校、高等学校若しくは中等教育学校又は旧大学令による大学、旧専門学校令による専門学校若しくは旧中等学校令（昭和18年勅令第36号）による実業学校において電気工学に関する課程を修めて卒業し、かつ、電気技術に関する業務に5年以上従事した経験を有する者
- へ 職業能力開発促進法（昭和44年法律第64号）第28条による職業訓練指導員免許（免許職種が電気工事科であるものに限る。）を受けている者（平成5年3月31日までに免許職種が電気科の職業訓練指導員免許を受けている者及び同法附則第6条第1項の規定により職業訓練指導員免許を受けたとみなされた者（免許職種が電工であるものに限る。）を含む。）
- ト イからへまでに掲げる者と同等以上の知識及び経験を有していると経済産業大臣が認める者

2、その他の要件

- ① 試験センターの指定する研修を受講できる者
- ② 判定員業務に耐えうる健康を有する者（1年以上従事できる者）であって、満65歳位までのもの
- ③ 国家試験の判定員として相応しい人格を有し、守秘義務を遵守できる者
- ④ マイナンバーの写し等の必要書類を提出できる者

以上

技能試験判定員の要件に該当する旨を証する書類について(補足説明)

○要件 イー1、2、3、4に該当する場合の提出書類

各項目に該当する場合の提出書類は、以下のとおりです。

要件項目	提出書類
イー1	電気工学に関する学科を担当する教授若しくは准教授(旧:助教授)の職にある(あった)ことを証する学校長の証明書(コピー不可)または、同職の辞令等(写)
イー2	電気工学に関する学科を担当する教員の職にある(あった)ことを証する学校長の証明書(コピー不可) または、同職の辞令等(写)
イー3	電気工学に関する学科を担当する教諭の職にある(あった)ことを証する学校長の証明書(コピー不可) または、同職の辞令等(写)
イー4	電気工作物検査官の職にある(あった)ことを証する辞令等(写)

なお、イー3でいう教員職員免許法(昭和24年法律第147号)による高等学校教諭の専修免許状とは、旧法では下表右欄の免許状となり、高等学校教諭一級普通免許状がこれに該当します。

免許状の種類(平成元年4月1日以降)	免許状の種類(平成元年3月31日以前)
高等学校教諭専修免許状 ※高等学校教諭一種免許状は不可	高等学校教諭一級普通免許状 ※高等学校教諭二級普通免許状は不可

○要件 ロ、ニ、ホ、へに該当する場合の提出書類は、以下のとおりです。

要件項目	提出書類
ロ	第1種電気工事士免状の写し(電気工事士法第4条の3、講習受講記録欄を含む)
ハ	第2種電気工事士免状の写し及び実務経歴証明書(電気工事に関する業務5年以上)
ニ	第1・2・3種電気主任技術者免状の写し及び実務経歴証明書(電気技術に関する業務5年以上)
ホ	学校教育法による大学、高等専門学校、高等学校若しくは旧専門学校令または旧中等学校令による実業学校で電気工学に関する課程を修めた卒業証明書の写し及び実務経歴証明書(電気技術に関する業務(電気実習)5年以上)
へ	職業能力開発促進法第28条による職業訓練指導員免許(免許職種が電気工事であるもの)の写し

実 務 経 歴 証 明 書

ふりがな			生 年	昭和	年	月	日
氏 名			月 日	平成			
現 住 所	〒 — TEL — —						
勤 務 先 (現在又は過去)	名 称						
	所 在 地	〒 — TEL — —					
退 職 年 月 日 (退職者のみ)	平成 年 月 日 退職						
実 務 経 験 の 期 間 及 び 内 容							
所属部署及び役職名	期 間	職 務 の 内 容					
通 算 期 間	年 月	_____					

上記のとおり、実務経験を有することを証明します。

平成 年 月 日

法人名
(法人以外の場合にあつては事業所名)

代表者氏名
(法人以外の場合にあつては任命権者等の氏名)

代表
者印

振込口座指定書

平成 年 月 日

一般財団法人
電気技術者試験センター 御中

貴センターから支払われる手当等は、下記預金口座にお振込み下さい。
この口座に振り込まれた手当等は、私が受領したと認めます。

住 所 _____

氏 名 _____ (印)

※指定する振込先口座は本人名義として下さい。

いずれかに○印	氏 名	口座名義人 (カタカナ、濁点・半濁点も1字とし、姓と名の間は1マスあける)																			
新規																					
変更																					
振込先	金融機関	預金種別										口座番号 (店番コード、科目コード等は記入しないこと)									
	銀行 信用金庫	1. 普通 2. 当座 9. (その他)																			
金融機関 コード	*	支店 コード	*																		

(*は試験センター記入)

(受付 平成 年 月 日)
(入力 平成 年 月 日)

最寄駅通知書

一般財団法人
電気技術者試験センター 御中

住 所 _____

氏 名 _____ (印)

自宅最寄駅	路線名 (鉄道)	備 考

(受付 平成 年 月 日)
(入力 平成 年 月 日)

- 自宅最寄駅は、自宅 (この場合、自宅とは現住所を意味する。) に最も近い鉄道の駅を記入して下さい。なお、自宅最寄駅から自宅までの交通手段としてバス等を利用する場合であって、1.2 km以上の場合は、備考欄にバス会社名、バス路線名、乗車場名、停車場名、乗車距離、片道運賃を記入して下さい。
- 通知を受けた「自宅最寄駅」は、旅費支給の算定資料とします。

【参考】旅費経路の算定について (研修会場等)

旅費経路は、自宅最寄駅から会場最寄駅までの最も経済的な経路とします。経済的経路、航空機、特急の利用及び宿泊の有無等は、試験センターで個別に判断・算定します。

同意書

私は、一般財団法人電気技術者試験センターの行う試験事務のうち電気工事士技能試験に係る技能の判定に関する事務を行う試験員（以下「判定員」という。）の候補者として登録すること及び選任された場合は判定員として試験事務に従事することに同意します。

なお、判定員として試験事務に従事するに当たっては電気工事士法第7条の10に定める秘密保持義務を遵守するとともに事務の遂行に際しての条件・方法については「電気工事士技能試験に係る判定員等に関する業務等説明書」に従うことを約束します。

以上

一般財団法人電気技術者試験センター
理事長 岡村 繁 寛 殿

平成 年 月 日

住所

氏名

印

技能判定員略歴書

写 真 (4 cm × 3 cm)	フリガナ		生 年 月 日		
	氏 名		昭和・平成 年 月 日		
	現住所	〒 — —			
		携帯電話 (— —)			
		自宅電話 (— —)			
		FAX番号 (— —)			
		PCメールアドレス _____			
勤務先及び役職名					
勤務先所在地		〒 — — 電話 (— —)			
学 歴 (最終学歴必須)					
職歴及び役職名 (最終職歴必須)					
要件 該当する 項目を○ 印で囲ん てください。 い。	イ-1	大学若しくは高等専門学校において電気工学に関する学科を担当する教授若しくは准教授(旧:助教授)の職にあり、又はあった者			
	イ-2	専修学校の専門課程において電気工学に関する学科を担当する教員の職にあり、又はあった者			
	イ-3	教育職員免許法による高等学校教諭専修普通免許状を有する者であって、高等学校で電気工学に関する学科を担当する教諭の職にあり、又はあった者			
	イ-4	電気工作物検査官の職にあり、又はあった者			
	ロ	第一種電気工事士である者			
	ハ	第二種電気工事士であって、電気工事に関する業務に5年以上従事した経験を有する者 (従事した期間:別紙実務経歴書のとおり)			
	ニ	第一種、第二種、第三種電気主任技術者免状の交付を受けている者であって電気技術に関する業務に5年以上従事した経験を有する者 (従事した期間:別紙実務経歴書のとおり)			
	ホ	大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校、旧専門学校及び旧実業学校において、電気工学に関する課程を修め卒業し、かつ、電気技術に関する業務に5年以上従事した経験を有する者 (卒業学校の種類: 大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校、旧専門学校、旧実業学校) (従事した期間:別紙実務経歴書のとおり)			
ヘ	職業訓練指導員免許(免許職種が電気工事科である者に限る。)を受けている者				